

平成 23 年度

こども福祉教室を開催しています!

こども福祉教室は、市内の小学校 3～6 年生を対象とし、「福祉の心を育てよう」を合言葉に、子どもたちが様々な体験や出会った人々との関わりを通して「思いやりの心」を持てるように、また「自分の思いや意見を人前ではっきり言えるような人になりましょう。」との願いから、毎年、実施しています。計画の中には、家族で、地域福祉やボランティアについて話し合い、関心をもっていたくきっかけになればと、親子で共に学び、体験する講座も取り入れています。

日々、成長する子どもたちの姿を見ながら、スタッフも力をもらい、元気いっぱい活動中です。今回は 5 月～12 月までの活動を紹介します!



主な内容 CONTENTS

こども福祉教室開催	22
赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。	23
社会福祉推進校事業	25

親子で学ぼう! 認知症サポーター養成講座 ~5月~

今年は、親子参加の教室を 2 回設けることになり、第 1 回目として、“認知症”について理解してもらおう講座を開きました。

認知症になるとどのような症状がでるのか、どう接したらいいのかなど劇を交えて教えていただいた後、これから自分たちはどういうことに気を付けたらいいかなどを話し合いました。

小学生には少し難しい内容もあったけれど、親子でしっかり学ぶことができました。



ぞうきん作り & 手遊びを学ぼう! ~6月~



7 月に訪問する施設のおじいさん、おばあさんに渡すためのぞうきん作りに挑戦しました。

初めて針を持つ子どももいましたが、隣同士で教えあったりスタッフに手伝ってもらったりしながら、一針一針心をこめて縫い、50 枚も作ることができました。

「家に帰っても作ってみる!」「お母さんにも見せたいな」と言ってくれる子もいました。

施設訪問と信州スカイパーク散策 ~7月~

高齢者施設では 6 月に作ったぞうきんをプレゼントしました。6 年生が代表で渡すと「上手に作ってくれたね。ありがとう!」と、とても喜んでくださいました。

その後の交流では、覚えてきた手遊びを披露したり、お話をさせていただいたりしました。

目線を同じ高さにする、耳が遠い方には大きな声で話すなど、子どもたちなりに工夫をする姿も見ることができ、成長を感じることができました。



スローガン

みんなで築く
みんなの福祉
(あした)
みんなの未来

●発行・編集●

岡谷市社会福祉協議会

〒394-0081

岡谷市長地権現町4-11-50

☎ 24-2121

☎ 24-3555

*

ホームページアドレス

www.okaya-shakyo.or.jp

*

メールアドレス

info@okaya-shakyo.or.jp

清掃工場見学& やまびこ公園でバーベキュー ~8月~



清掃工場では、劇を交えながら楽しくゴミの分別を教えていただきました。

燃えるゴミの中に金属を入れてしまうとどうなるのか、自分たちが1年間に出すゴミの量はどのくらいかなど、実物を見ながら勉強しました。

お昼は毎年恒例のバーベキュー会！楽しみにしていた子どもも多く、食べて、笑って、子ども同士の交流も深めることができ、楽しい夏休みの思い出を作ることができました。

廃油石けんを作ってみよう！ ~11月~

11月は、岡谷市消費者の会の皆さんに指導していただき、廃油石けんを作りました。

なぜ合成洗剤が環境に良くないのかを説明していただいた後、石けん作りへ。廃油にカセイソーダを入れ、ドロツとするまでかき混ぜる作業を行いました。

子どもたちからは、「これからはなるべく石けんを使いたい」「帰ったら家族に話したい」等の意見を聞くことができ、環境について考えるきっかけになったかなと思いました。



手作りの凧を空高くあげよう！ ~12月~



12月はスタッフの西野正さんに指導をお願いし、オリジナルのダイヤ型凧作りに挑戦しました。

ほとんどの子どもは凧作り初体験でしたが、立派な凧を作ることができ、完成後は外に出て実際に凧あげもしました。

風はあまりなかったけれど、寒さも吹き飛ばすほどたくさん走り空高く凧をあげることができました。

子どもたちに手作りの良さや、昔の遊びの楽しさが伝えられる良い機会になりました。



こども福祉教室では、24年4月から参加していただけるスタッフを募集しています。

活動内容は、子どもの活動補助や準備の手伝い、1年間のプログラム作成などに協力していただきます。

子どもが好きな方で中学生以上であれば、年齢・性別は問いません。(年間2,000円の参加費が必要です。)

子どもたちと一緒に、楽しみながら学びませんか。詳しくは、下記までお問合せください。

市社協 TEL 24-2121

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました



昨年 10 月から 12 月まで行なわれた「赤い羽根共同募金」運動につきましては、市民のみなさんをはじめ、企業・学校等多くのみなさんの温かい「助け合いの心」に支えられ募金活動を終了することができました。

ご協力に感謝申し上げるとともに、結果をご報告いたします。

実績額 18,706,025 円

地区 16,846,129 円 **学校 71,173 円**
募金箱等 8,405 円 **窓口 1,780,318 円**

3,402,000 円 県共同募金会へ繰り入れ県内の施設や社会福祉事業への助成に使われます。

15,304,025 円 岡谷市社会福祉協議会へ配分され下記の事業に使われます。

地域のネットワーク (きずな) づくりのために

- ・ 地区敬老事業
- ・ 地区社協活動事業
- ・ 児童遊園地新設・整備事業
- ・ 罹災者に対する見舞い



東堀区敬老事業

交流・社会参加・仲間づくり

- ・ ふれあいいきいきサロン事業



小菊の会

フォークダンス・ジャズダンス・日本舞踊等 30 曲以上を楽しく踊っています。

学校・企業・ボランティアグループ地域福祉活動に携わっているみなさんのために

- ・ ボランティア等地域福祉活動振興補助事業
- ・ 社会福祉推進校事業・福祉関係団体への助成



日本語ボランティア「ふれあい」
「国を知る会」の交流会
家族も一緒に中国と日本の料理作り。
お茶の作法の勉強も行いました。



傾聴ボランティア
「傾聴みみずく」
スキルアップ研修会



- ◆ 法人・団体
- 長地ファイヤードラゴンズ様
 - 岡谷市仏教婦人連合会様
 - 照光寺智山婦人会様
 - ボーイスカウト岡谷第1団様
 - ボーイスカウト岡谷第2団様
 - うしお様
 - 諏訪友の会様
 - 宗教法人真如苑岡谷支部様
 - 三沢会計事務所様
 - (株)F.P.プライム社員一同様
 - 岡谷料食睦会様
 - (株)岡谷中部建設様
 - 少年野球「もみじ大会」様
 - 長野県理容生活衛生同業組合
 - 岡谷下諏訪支部青年部様
 - T.P.R.帝友会様
 - T.P.R.労働組合様
 - ティービ興産労働組合様
 - 臨時組合様
 - 京セラ(株)長野
 - 岡谷工場従業員一同様
 - 京セラ(株)長野岡谷工場様
 - 京セラ労働組合長野岡谷支部様
 - 京セラエルゴ(株)
 - 岡谷事業所従業員一同様
 - 京セラキンセキ(株)
 - 岡谷事業所従業員一同様
 - (株)日本ピスコ従業員一同様
 - (株)ダイヤ精機製作所労働組合様

窓口寄付

傾聴ボランティア団体『傾聴みみずく』主催

講演会 “聴くこと・話すことで心のつながりを！” を開催します！

私たちは普段、自然にあいさつを交わし気軽に会話をしながら相手とのつながりを保っています。しかし、「本当に相手のことを思い「聴く・話す」を繰り返しているのか。」と考えたことはありませんか？

“傾聴”は相手の方と関わり、相手の方を尊重し話を聴くことが大切です。もう一度人との関わりと心のつながりについて考えてみませんか。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください！

- ★ 日時 平成 24 年 2 月 25 日(土) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- ★ 会場 おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ) 大会議室
- ★ 演題 “共に喜び共に悲しみ共に痛む心を”
- ★ 講師 立教大学副総長 文学部教授 西原廉太 先生
- ★ 問合せ 傾聴みみずく・野崎 TEL 24-4405



社会福祉推進校事業

問合せ 市社協 ☎ 24-2121

岡谷市社会福祉協議会では、福祉教育を推進するために、学校が実施する事業経費の一部補助、講師の派遣・紹介・福祉教育プログラム作成・体験学習の提供等を行なっています。

また、学校、地域などで体験学習ができるように、車いす・高齢者疑似体験セット・点字器等の貸出を行なっています。ご希望の場合は、事前に市社協へ申込みをお願いいたします。

小井川小学校 4年生 ～点字体験・目の不自由な方のお話～

視覚障害者の今井さん、林さんから、日常生活の様子や工夫、どんな支援があるのかお話ししていただきました。点字サークルの増沢さんより点字のなりたちと打ち方を習い、点字で打った自分の名前を、おふたりに読んでいただきました。

あるクラスでは、点字体験学習会をきっかけに今井さん、林さんとの交流が始まりました。福祉教育がこれからの地域福祉へとつながっていくことを願っています。



林さんは、ヘルパーさんに手伝っていたので自分で料理をしようと言っていたので「目が見えなくても他の人と変わらないんだな～」と思いました。今井さんに、名前を読んでいただいてうれしかったです。

自己紹介のときから笑顔で素敵心が温まりました。

わたしは、ケチャップの入れ物やジュースのビンなどに点字があることに気づかなかったのでおどろきました。実際に点字を打ち、自分の名前の「が」がうまく打てなかったのに、林さんはきちんと名前を読んで、ほめてくれました。その時は、うれしかったし自信もつきました。今日は本当に勉強になりました。

感想文より抜粋

川岸小学校 6年生 ～高齢者疑似体験～

約80歳の体験ができるセットを使い、階段の上り下りや字を書くなどの体験をしました。

自分たちが簡単にできることが、お年寄りには大変なこともあるということ学びました。



重りをつけていると、ペットボトルの水が上手く注げないだね。



白内障に見えるゴーグルをつけると、新聞が読みづらいね。

岡谷東高 2・3年生 ～ボランティア講座～

健康スポーツコースの2年生と基礎福祉を選択している3年生を対象に、ボランティアの心構えや、基礎を学ぶ講座を開きました。

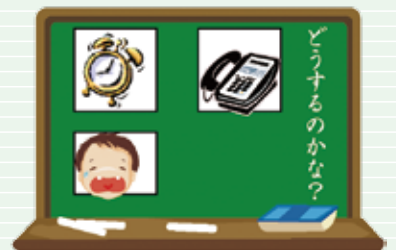
ボランティアは「まずは自分が楽しむ、無理をせず自分ができることから始めるなどボランティアの基本を学びました。

ボランティア始めてみようかなあ。



川岸小学校 2年生 ～手話体験教室～

聴覚障害者の北原さん米田さんに日常生活で困ることなどお話をしていただきました。参観日だったので保護者の方にも見学していただきました。親子で聴覚障害者の生活や手話に関心を持っていただけたのではないのでしょうか。クラス毎、耳の不自由な方の日常生活用具や、手話について楽しく学びました。



・私は、どうして耳がきこえなくなったのか、気になっていました。それがわかってよかったです。クイズでいろんな手話を覚えました。電話をする時はファックスを使うなんて驚きでした。お客さんが来た時はどうするんだろうと思いました。ピカピカする機械を使うなんて知りませんでした。

・クイズもおもしろくて、何て言っているのかわかりました。言い方も丁寧で、耳が不自由でも手話があれば何でも話せるんですね。うれしいですね。(感想文より抜粋)